

2007年1月10日

東急田園都市線・たまプラーザ駅周辺開発計画第1弾
1月19日(金)、新商業施設「たまプラーザ テラス サウスプラザ」をオープン
フィットネスクラブなど4店舗が出店するほか、駐車場や広場も設置

東京急行電鉄株式会社



東京急行電鉄（本社：東京都渋谷区、社長：越村敏昭）では、2007年1月19日（金）東急田園都市線たまプラーザ駅周辺開発計画の第1弾として、新商業施設「たまプラーザ テラス」の一部となる「たまプラーザ テラス サウスプラザ」をたまプラーザ駅南口駅前に開業します。

「たまプラーザ テラス サウスプラザ」には、核テナントとして、東急スポーツシステム（本社：東京都渋谷区、社長：木下雄治）が運営するスポーツ施設「アトリオ ドゥーエ たまプラーザ」が出店（2月1日（木）開業）するほか、ベーグルカフェ「ベーグル & ベーグル」、ドラッグストア「トモズ」、ペットショップ（開業日、運営企業等詳細については近日中に決定）の計4店舗が出店し、スポーツやペットを愛好する生活者のライフスタイル実現とコミュニティ育成の場を提供しています。（各テナントの詳細については別紙をご参照ください）

また、地域にお住まいの方々の憩いの場としてご利用いただける約1,000㎡の広場「コミュニティコート」を設置するほか、約480台収容の立体駐車場を整備するなど、都市機能も充実させています。

なお、2006年11月1日発表の報道資料では、「たまプラーザ テラス」の各ゾーン名称を「ステーションスクエア」（駅上部）、「ノーススクエア」（駅北側にある既存の「たまプラーザ東急SC」部分）、「サウススクエア」（今回の開業部分）としていましたが、それぞれ「ゲートプラザ」、「ノースプラザ」、「サウスプラザ」に名称を変更いたしましたので併せてお知らせいたします。

今後、「たまプラーザ テラス」は、2007年10月に「ゲートプラザ」の第1期部分が開業し、2010年に全体が開業する予定です。

「たまプラーザ テラス サウスプラザ」の概要は次のとおりです。

「たまプラーザ テラス サウスプラザ」の概要

所在地 横浜市青葉区新石川2-2-1
敷地面積 6,740㎡
延床面積 24,643㎡
店舗面積 5,565㎡
店舗数 4店舗
駐車場 約480台

以上

(別紙)

サウスプラザに出店するテナントの概要

アトリオ ドゥーエ たまプラーザ



会員制フィットネスクラブとスイミングクラブからなる、地域最大級のスポーツ施設です。「光と空間の演出」をコンセプトとした建築デザインおよびインテリアコーディネートにより、くつろぎと開放感溢れる空間を提供します。

(フィットネスクラブ)

施設内には、イタリア製の最新鋭トレーニングマシンを導入したマシンジムや、基礎体力づくり・脂肪燃焼プログラム・ヨガ・ピラティスなどのさまざまなグループレッスンに対応する3つのスタジオを設置するほか、エクササイズ&ウォーキング専用と本格的スイミング用(25m)の2つのプールを配するなど、明るく開放的なリゾート感覚を演出します。さらに、リラクゼーションエリアでは、広々としたロッカールームに加え、バイラバスの大浴場、サウナ、水風呂と充実したスパ施設を設置します。大人がリラックスできる心地よい時間と質の高いクラブライフを、リーズナブルな料金で提供します。

(東急スイミングスクールたまプラーザ)

たまプラーザ駅北口で1979年より運営してきた「東急スイミングスクールたまプラーザ」を移設し、お子さまの心と身体を豊かに育む、安全で楽しいエクササイズプログラムを提供します。



フィットネスクラブおよびスイミングクラブの開業は2007年2月1日(木)となります。

店舗名	アトリオ ドゥーエ たまプラーザ
運営者	東急スポーツシステム株式会社
本社所在地	東京都渋谷区南平台町5番6号
店舗面積	4,727.44㎡



ベーグル & ベーグル



ニューヨークのベーグルカフェをモチーフにした明るく居心地の良い空間で、ベーグルやオリジナルスイーツを中心としたヘルシーな食事をお楽しみいただけます。



店舗名	ベーグル & ベーグル
運営者	株式会社ドリームコーポレーション
本社所在地	東京都渋谷区円山町28番1号
店舗面積	135.09㎡

トモズ



「美と健康の相談窓口」として、処方箋の受け付けはもちろん、薬やドクターコスメ、ブランドコスメの品揃えも充実。お客さまに最適な商品を提供する「かかりつけ薬局」として、お客さまの美と健康をサポートします。

店舗名	トモズ
運営者	株式会社住商ドラッグストアーズ
本社所在地	東京都文京区西片一丁目15番15号
店舗面積	391.63㎡



ペットショップ

ペットとの暮らしをもっと楽しんでいただくための専門店が1,000㎡の広場に面した明るく開放的な空間にオープン。子犬やグッズを販売するほか、トリミングサロンやクリニックも併設します。

開業日、運営企業等詳細については近日中に決定します。

外観イメージパース(サウスプラザ)



(参考1)

たまプラーザ テラスの概要

所在地	横浜市青葉区美しが丘一丁目他		
交通	東急田園都市線・たまプラーザ駅前		
敷地面積	約 51,000㎡	(新規商業施設)	約 38,000㎡
延床面積	約 179,000㎡	(")	約 117,000㎡
店舗面積	約 60,000㎡	(")	約 30,000㎡
店舗数	新規商業施設で約120店を想定		
駐車場	約1,500台		

着工および開業予定

各施設ならびに工期の名称は、以下の通りとなっております。カッコ内の名称はこれまでの報道資料でお知らせしてきたものです。

サウスプラザ (B棟)	着工...2005年11月9日	開業予定...2007年1月19日
ゲートプラザ1期 (A棟 期)	着工...2006年6月14日	開業予定...2007年10月
ゲートプラザ2期 (A棟 期)	着工...未定	開業予定...2009年
ゲートプラザ3期 (A棟 期)	着工...未定	開業予定...2010年
ノースプラザ (既存のたまプラーザ東急SC部分)	リニューアル開業予定...2010年	

各施設の配置は参考2 (次ページ) をご参照ください。

店舗・施設構成

生活者のライフスタイル実現を支援する物販・飲食店舗を中心としたテナント構成とするほか、スポーツクラブやカルチャースクール、コンサートやイベントを行える広場、展示会・発表会の開催が可能なスペースなどを設置します。

新規商業施設設計の概要

建物の高さを駅改札口から2層または3層までに抑えた、オープンモールとクローズドモールからなるハイブリッド型商業モールとし、たまプラーザの街の大きな特徴である低層で開放的な街並みとの調和を図ります。また駅部分だけでなく線路部分の上空にも人工地盤を設置することで広大な敷地を確保し、施設内を回遊しながら駅を中心とした街の南北を往来できる、サーキット型の動線を持った商業モールとします。さらに駅前広場や駐車場などを極力地下化することにより車と歩行者を分離し、快適で安全に歩行できる空間を実現します。

新規商業施設のデザイン

世界的に著名なラグアルダ・ロウ・タナマチ事務所のデザイナーである John Low (ジョン・ロウ) 氏を起用し、モール全体を明るく開放的な雰囲気ですべて統一します。

東京急行電鉄における本計画の位置付け

本計画は当社が中心となって半世紀以上にわたり街づくりを行ってきた「東急多摩田園都市」の集大成となるシンボリックな事業であると同時に、2005年4月からスタートした当社中期3か年経営計画における成長戦略 (エリア戦略の深化、 沿線拠点開発の展開、 リテール関連事業の推進) を具現化する事業となります。田園都市線沿線エリアの拠点であるたまプラーザにおいて本計画を実施し、当社の3つのコア事業である「交通事業」、「不動産事業」、「リテール関連事業」の連携による相乗効果を発揮することで、街の活性化を図るとともに沿線価値のさらなる向上を目指してまいります。

(参考2)

「たまプラーザ テラス」の計画エリア



外観イメージパース(計画エリア東側上空から見た場合)



外観イメージパース(駅南口側から見た場合)



外観イメージパース(駅北口西側から見た場合)



外観イメージパース(ゲートプラザ1期)



以上